

— 日本草地学会 信州大会 日程 —

3月25日(水)		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
受付場所	講義棟 1階	入口ロビー							受付、賛助会員展示				
A会場	講義棟 2階	25番教室							口頭発表 (一般)	企画シンポジウム1 「草地生態系の多面的機能と環境保全」			
B会場	講義棟 2階	11番教室							口頭発表 (一般)				
C会場	講義棟 2階	24番教室							口頭発表 (一般)				
D会場	講義棟 1階	16番教室							口頭発表 (一般)				
E会場	講義棟 1階	17番教室			評議員会				口頭発表 (一般)	企画集会 「公共牧場の活性化に向けて④本州中部地域の公共牧場の現状と課題」			
F会場	講義棟 1階	15番教室					企画委員会						
ポスター発表会場	講義棟 2階	21~23番教室								ポスター展示			

3月26日(木)		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
受付場所	講義棟 1階	入口ロビー				受付、賛助会員展示							
A会場	講義棟 2階	25番教室			口頭発表 (一般)								
B会場	講義棟 2階	11番教室			口頭発表 (若手)								
C会場	講義棟 2階	24番教室			口頭発表 (一般・シニア)								
D会場	講義棟 1階	16番教室			口頭発表 (一般)								

－ 会場（信州大学農学部）へのアクセス －

中央高速バス利用の場合

・新宿方面から

新宿高速バスターミナル（新宿西口）で伊那線（駒ヶ根行）に乗車（約3時間10分）し、伊那インター前で下車。バス停から、バスの進行方向と逆方向（伊那インターに向かう方向）に約400m進むと、中央高速の下をくぐります。その先約60mで左に分かれる脇道に入って約200m進むと農学部正門が正面に見えます。農学部正門に入ってユリノキ並木を進むと、徒歩5分ほどで講義棟・管理棟が右側に見えます。

・名古屋方面から

名鉄バスセンター（正面口へのエレベーターはナナちゃん人形のすぐ近く）から伊那線に乗車（約3時間10分）し、伊那インター前で下車。バス停から、バスの進行方向（伊那インターに向かう方向）に約400m進むと、中央高速の下をくぐります。その先約60mで左に分かれる脇道に入って約200m進むと農学部正門が正面に見えます。農学部正門に入ってユリノキ並木を進むと、徒歩5分ほどで講義棟・管理棟が右側にあります。

JR 利用の場合

・路線バス

JR 飯田線伊那市駅を出て、駅正面（80m先）の信号機のある交差点（伊那市駅前交差点）を左へ曲がると徒歩1分あまり（100m）で伊那バスターミナル（停留所名は「伊那営業所」）が左手にあります。ここで「西箕輪線」に乗車（17分）し、「大学入口」で下車。バス停のすぐ近くにある農学部正門に入ってユリノキ並木を進むと、徒歩5分ほどで講義棟・管理棟が右側にあります。

・タクシー

JR 飯田線伊那市駅または伊那北駅からタクシー乗車（約10分）。

自家用車 利用の場合

中央高速伊那インターを出て、インター正面の交差点を右折。その先約600mの信大前交差点を左折すると120mで農学部正門が右側にあります。農学部正門に入って約400mで講義棟・管理棟・駐車場です。

－ シャトルバス運行について －

信州大学南箕輪キャンパスは市街（伊那市）から約 5km 離れた場所に位置しています。アクセスの充実を図るため、大会期間中（3 月 25 日～27 日）に伊那市街-南箕輪キャンパス間を直行で結ぶ送迎バスを運転します。また、草地学会大会終了後、日本畜産学会大会（宇都宮大学）に向かわれる方のために、3 月 27 日に直行バスを運行します。詳細は以下の通りです。

① 伊那市街 - 南箕輪キャンパス 送迎バス

【運行日】

3 月 25 日 午後

3 月 26 日 午前・午後

3 月 27 日 午前

・運行時刻は後日案内します。午前の運行は当日のプログラム開始前、午後の運行はプログラム終了後となります。

・3 月 26 日夕方に開催される懇親会会場（信州 INA セミナーハウス）へは、総会終了後、別に送迎バスを運行します。

【運行コース】（予定）

信州大学南箕輪キャンパス – 伊那市駅 – 伊那北駅 - ホテルルートインコート伊那付近 – 伊那インター前バス停 - 信州大学南箕輪キャンパス

【料金】 無料

②南箕輪キャンパス → 宇都宮市内 直行バス

【運行日・運行コース】

3 月 27 日 午前

伊那市街（2-3 か所・8:00 頃出発）- JR 宇都宮駅 – 宇都宮大学（12:00 頃到着）

3 月 27 日 午後

信州大学南箕輪キャンパス（14:30 頃出発）- 宇都宮市街（2-3 か所・19:00 頃到着）

・3 月 27 日午前、午後の 2 便を運行予定ですが、申込者が予定を下回る場合は変更（減便または運休）となります（申し込まれた方には、変更の際は事前にご連絡します）

・料金は、申込者数により変動しますのでご承知おきください（5000 円～7000 円程度）。お支払いは大会受付にて、現金で申し受けます。

・ご利用は、草地学会大会、畜産学会大会の少なくともどちらかの学会に参加される方に限らせていただきます。

【申し込み】

「直行バス申し込み」の件名で、本文に次の項目を記載した電子メール ytkuyeno@gmail.com までお送りください。

(1) 所属、(2) 氏名 (3) 連絡先メールアドレス、(4) 利用人数、(5) 希望の便 (午前・午後・どちらでもよい)。ご要望、ご質問があれば、あわせてお知らせください。

・先着順で受け付けます。利用便が未定の場合も、早めの申し込みをおすすめします。

・キャンセルポリシー等は、返信メールにてお知らせいたします。

・メール送信後、2 平日経過しても返信がない場合は、お手数ですが大会運営事務局メールアドレス grass2015@shinshu-u.ac.jp までお知らせください

問い合わせ (①②とも) 大会運営事務局 上野 豊 まで電子メール (ytkuyeno@gmail.com) にてお寄せください。

－ 会場周辺案内 －



— 信州大学農学部構内案内図 —

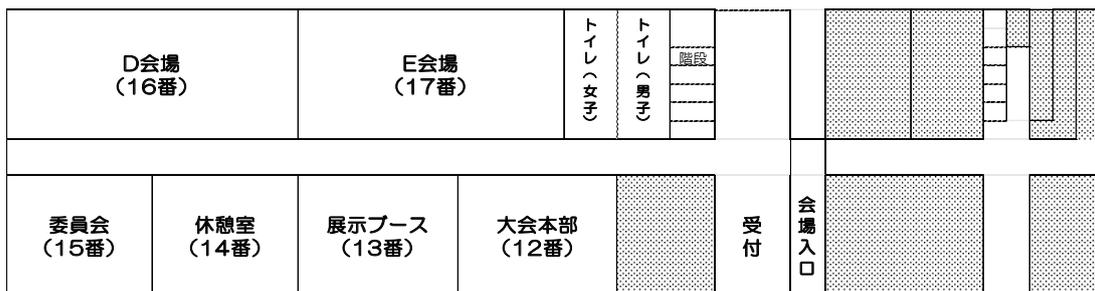


— 会場（講義棟）配置図 —

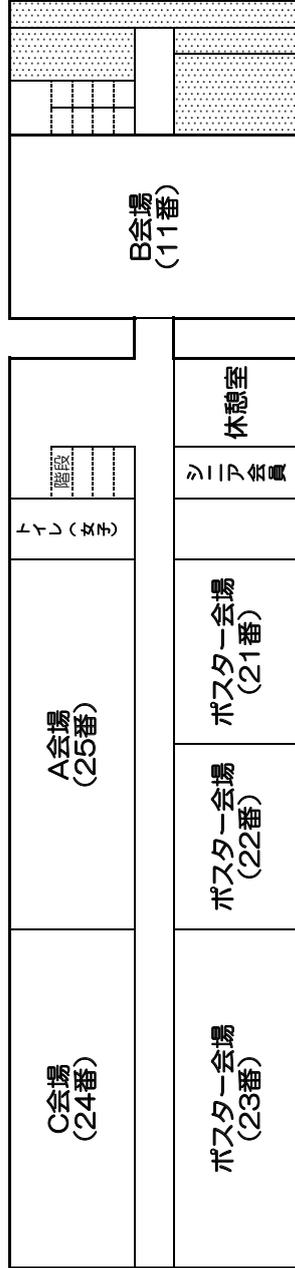
▼ 講義棟 2階



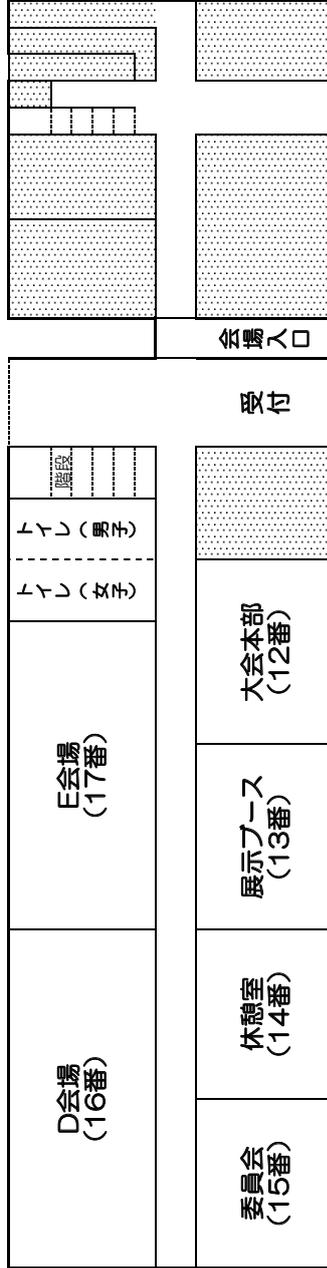
▼ 講義棟 1階



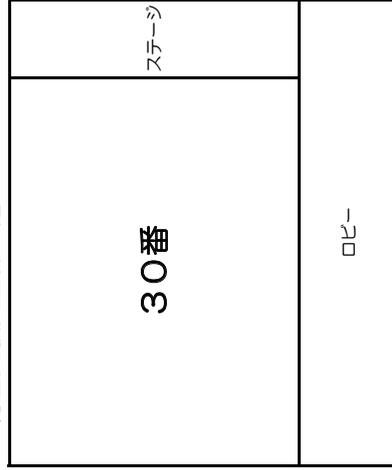
▼ 講義棟 2階



▼ 講義棟 1階



▼ 総合実験実習棟 2階



— 企画シンポジウム、企画集会、小集会のご案内 —

企画シンポジウム 1

「草地生態系の多面的機能と環境保全」

日時：3月25日（水）、16:00–18:00

場所：A会場（講義棟2階 25番教室）

企画者：森 昭憲（畜草研）・吉原 佑（東北大学）

1. 日本の草地の分布と土壌炭素量
松浦庄司（畜産草地研究所）
2. 採草地の炭素固定機能の測定と評価
宮田 明（農業環境技術研究所）
3. 採草地における亜酸化窒素放出の緩和
森 昭憲（畜産草地研究所）
4. 養豚における草地利用の利点
戸澤あきつ（信州大学）
5. 半自然草地の生物多様性について注意すべきこと
横川昌史（大阪市立自然史博物館）
6. 放牧地の生物多様性が複数の多面的機能を支える
吉原 佑（東北大学）

企画シンポジウム 2

「長期草地動態研究による成果と今後のありかた」

日時：3月27日（金）、9:00–11:00

場所：A会場（講義棟2階 25番教室）

企画者：下田勝久（畜産草地研究所）

1. 「草地の動態に関する研究」の概要と藤荷田山生態観測試験地における調査事例
板野志郎（新潟大学）

2. 川渡ススキ草地における長期草地動態調査
小倉振一郎（東北大学）
3. 長野県霧ヶ峰ススキ草原における 20 年間の植生推移
中神弘詞（畜産草地研究所）
4. 御代田研究拠点における人工草地の長期植生調査で分かったこと
下田勝久（畜産草地研究所）

企画シンポジウム 3

「ソルガム類を活用した今後の自給飼料増産の可能性」

日時：3月27日（金）、9:00－11:00

場所：E会場（講義棟1階 17番教室）

企画者：春日重光（信州大学）・菅野 勉（畜産草地研究所）

1. ソルガム類の近年の品種育成の動向
清沢敦志（長野県畜産試験場）
2. ソルガム類を活用した中山間地向け高品質飼料生産技術
浅井貴之（長野県畜産試験場）
3. コントラクター等に適した省力的飼料生産技術
折原健太郎（神奈川県畜産技術センター）
4. ソルガム類を活用した飼料生産技術の栽培適地について
菅野 勉（畜産草地研究所）

企画集会

「公共牧場の活性化に向けて④本州中部地域の公共牧場の現状と課題」

日時：3月25日（水）、16:00－18:00

場所：E会場（講義棟1階 17番教室）

企画者：井出保行（畜産草地研究所）

1. 本州中部地域の公共牧場の現状と課題

(1) 長野県における公共牧場の現状と課題

竹田謙一（信州大学）

(2) 長野県における公共牧場の経営実態

有野陽子（長野県畜産試験場）

(3) 山梨県八ヶ岳牧場の現状と課題

保倉勝巳（山梨県酪農試験場）

2. 技術紹介

傾斜地草地における省力化と省資源化を可能とする新たな施肥法

山田大吾（畜産草地研究所）

3. 討論

小集会 1

「飼料作物育種における種子増殖の現状と課題 ①寒地型牧草における国内育成品種の採種性と海外増殖の現状」

日時：3月27日（水）、14:00-16:00

場所：A会場（講義棟2階 25番教室）

企画者：雑賀 優（岩手大学）・高山光男（雪印種苗）・

川口 優（家畜改良センター茨城牧場長野支場）・

上山泰史（畜産草地研究所）・清 多佳子（畜産草地研究所）

寒地型牧草をメインに、海外での種子生産を含めた飼料作物育種における種子増殖の現状と課題をあらためて認識し、情報を共有する。

1. 我が国における牧草育種と種子増殖の歴史

雑賀 優（岩手大学）

2. 日本品種の海外種子増殖の問題点（公的品種を例に）（仮）

伊澤 健（日本草地畜産種子協会）

3. 国内の採種における状況とコスト減への取り組み

川口 優（家畜改良センター）

4. 採種性改善に向けての雪印種苗株式会社の取り組みおよび米国での種子生産をめぐる現状（仮）

谷津英樹（雪印種苗株式会社）

（座長：上山泰史）

5. 意見交換

小集会 2

「放射性セシウム汚染の現状と低減化に向けた取り組み」

日時：3月27日（金）、14:00－16:00

場所：A会場（講義棟1階 17番教室）

企画者：築城幹典（岩手大学）・柁村恭子（畜産草地研究所）

東京電力福島第一原子力発電所事故から4年が経過し、牧草が暫定許容値を超過した地域においても、除染対策により草地利用が再開されるところが増えてきている。一方で、除染後の牧草が再度暫定許容値を超過する例がみられるなどの問題が生じている。また、傾斜地や表土の薄い草地では除染作業が行えず、利用再開のめどすら立たないところも見られる。こうした草地では、利用自粛のため雑灌木が侵入し、草地としての利用再開が困難になることが予測され、生産のみならず生物多様性、景観などにも影響を及ぼすことが考えられる。本小集会では、こうした放射能汚染地域の草地畜産の現状を報告していただくとともに、今後の研究課題などについて議論する。

1. 帰還困難区域森林・草地土壌の放射性セシウム放射能の実態

－浪江町小丸地区における空間線量率と土壌汚染の定点観測結果

2013年5月～2014年12月－

寶示戸雅之（北里大学獣医学部）

2. 岩手県の耕起困難放牧地における放射性セシウム低減技術

佐藤まり子（岩手県農業研究センター畜産研究所）

3. 永年草地におけるカリ施肥による牧草中の放射性セシウム低減

渋谷 岳・山田大吾（畜産草地研究所）

4. 放射性セシウム吸収の草種間差

梅村恭子（畜産草地研究所）

小集会 3（本会はランチタイムセミナーの形式で開催されます）

「若手 R 統計企画：一般化線形回帰」

日時：3月27日（金）、12:00–13:00

場所：A会場（講義棟2階 25番教室）

企画者：川村健介（広島大学/若手の会代表）

いつもは聞けないデータ処理の悩みをぶつけてみませんか？苦勞して集めたデータをどう料理すれば良いのか、身近に相談する人がいなくて途方に暮れてしまった経験ないでしょうか。

上記に関連する若手会員の悩みは、統計だけには限りません。新しい分析方法、技術、解析など、気軽に相談できるネットワークが大切です。若手の会では、Rソフトを利用した事例紹介とデータ解析の相談をざっくばらんに行える場として、ランチ/ナイトタイムセミナーを企画します。今回は、一般化線形モデル（GLM）を題材にしたランチタイムセミナーを企画します。一般化線形モデルは、正規分布を仮定するデータにとらわれず、ポアソン分布や二項分布のデータも扱うことができるように拡張されたものであることから、あらゆるデータの解析を一元的に扱えるようになります。

Rソフトは、オープンソースソフトウェアの一つとして、その自由度の高さから様々な分野で広がっています。統計解析に限らず画像解析からGISまで、その応用は広範囲にわたります。Rに関する多くの良著も出ていますが、いざ自分のデータと向き合った時、様々な困難にぶつかった経験もあるはず。まずは一歩を踏み出しましょう。

1. 「みっちり一般化線形モデル（GLM）～ フィールドデータを正しく活かそう ～」（60分）

安田泰輔（山梨富士山科学研究所）

口頭発表プログラム 3月25日				口頭発表プログラム 3月25日			
A会場 (講義棟2階 25番教室)				B会場 (講義棟2階 11番教室)			
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
14:30	板野志郎	101	コマツナギの複数系統における分子系統学的解析 ○西脇亜也・岡本庄平・石黒美穂(宮崎大農)	14:30	加藤直樹	201	千鳥播栽培が子実用トウモロコシの収量に及ぼす影響—栽植密度が受光率および増収効果に及ぼす影響— ○義平大樹 ¹ ・菅原 啓 ¹ ・佐藤智宏 ² ・吉村暢彦 ¹ ・森 稔明 ¹ ・小川健太 ¹ (¹ 酪農大・ ² バイオニアハイブレッッドジャパン)
14:45		102	草地の群集内・群集間・景観レベルにおける種構成の不均一性 ○塩見正衛 ¹ ・陳 俊 ² ・山村靖夫 ³ (¹ 放送大・茨城・ ² 西北農林科技大・動物・ ³ 茨城大・理)	14:45		202	千鳥播栽培が子実用トウモロコシの収量に及ぼす影響—狭畦栽培との比較および長沼町における実規模試験— ○義平大樹 ¹ ・阿部賀斗 ¹ ・佐藤智宏 ² ・柳原孝二 ³ ・照井英樹 ⁴ (¹ 酪農大・ ² バイオニアハイブレッッドジャパン・ ³ 柳原農場・ ⁴ IDEC)
15:00		103	幕乗則による植生解析：被度・バイオマス・頻度・個体数 陳 俊 ² ・○塩見正衛 ¹ ・安田泰輔 ³ (¹ 放送大・茨城・ ² 西北農林科技大・動物・ ³ 山梨県富士山科学研究所)	15:00		203	窒素施用量の違いがスーダン型ソルガム「涼風」の収量、窒素吸収量に及ぼす影響 ○平尾賢一・小柳 渉(新潟県農業総合研究所畜産研究センター)
15:15	小路敦	104	Mean-ShiftとRandom-Forestを用いた空中写真からの草地植生図の作成方法 ○安田泰輔 ¹ ・杉田幹夫 ¹ ・川村健介 ² (¹ 山梨県富士山科学研究所・ ² 広島大学)	15:15	須永義人	204	関東南部におけるソルガム新品種「峰風」を利用したトウモロコシ・ソルガム混播栽培 ○折原健太郎(神奈川県畜技セ)
15:30		105	有機採草生産における温室効果ガス排出量およびエネルギー消費 ○堤 道生 ¹ ・小野 泰 ² ・實示戸雅之 ² ・小笠原英毅 ² (¹ 近農研・ ² 北里大)	15:30		205	生育段階別の刈取りが矮性ネピアグラスの乾物収量、ロールペールサイレージ発酵品質および越冬性に及ぼす影響 ○深川 聡 ¹ ・丸田俊治 ¹ ・峰 靖彦 ¹ ・石井康之 ² (¹ 長崎農技セ・ ² 宮崎大農)
15:45		106	黒毛和種去勢牛粗飼料多給肥育の環境影響評価 ○堤 道生・柴田昌宏(近農研)	15:45		206	宮崎県中山間刈干野草地におけるネピアグラスの草量および飼料品質 ○壺岐祐祐 ¹ ・石井康之 ¹ ・一木 剛 ² ・甲斐祐 ² ・井戸田幸子 ¹ (¹ 宮崎大農・ ² 宮崎県立高千穂高校)

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月25日				口頭発表プログラム 3月25日			
C会場 (講義棟2階 24番教室)				D会場 (講義棟1階 16番教室)			
時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動		時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
14:30	進藤和政	301	自発的な草地間の群移動時におけるウシの移動順位：メンバーが変化する黒毛和種牛群における5年間の結果 ○平田昌彦・浜田みなも・武富郁子・岡村幸樹 (宮崎大農)	14:30	宮地慎	401	高消化性スーダン型ソルガム「涼風」における生育期と栄養価の関係 ○浅井貴之・後藤和美・有野陽子・市川祐司・海内裕和 (長野畜試)
14:45		302	移動時にリーダーシップを有する個体の導入が牛群による草地利用に及ぼす影響：小規模な草地と群を用いた予備試験 ○平田昌彦・松原亜衣 (宮崎大農)	14:45		402	スーダン型ソルガムの省力的な高品質サイレージ調製法 ○浅井貴之・有野陽子・後藤和美 (長野畜試)
15:00		303	放牧と採食忌避野菜ズッキーニの栽培を組み合わせた有畜複合生産 ○池田堅太郎 (東北農研)	15:00		403	稲WCS主体発酵TMR給与による生乳の抗酸化 ○小橋有里・関 誠・宮腰雄一 (新潟農総研)
15:15	秋山典昭	304	連続放牧を活用した乳牛飼養技術の開発 2. 休牧・掃除刈りの影響と秋季搾乳牛放牧の結果 ○須藤賢司・渡辺也恭・上田靖子・朝隈貞樹・八木隆徳・安藤 哲 (北農研)	15:15	青木康浩	404	稲WCS主体発酵TMRの飼料用玄米の混合割合の違いが泌乳前期の乳生産に及ぼす影響 ○関 誠・小橋有里・宮腰雄一 (新潟農総研)
15:30		305	北海道の草地型酪農地域における乳中脂肪酸組成による放牧牛乳の判別 ○三谷朋弘 ¹ ・小林国之 ² ・上田宏一郎 ² ・近藤誠司 ¹ (¹ 北大FSC・ ² 北大院農)	15:30		405	イネWCSを粗飼料の主体とする発酵TMRにおける飼料用玄米の混合割合の違いが泌乳前期の乳生産に及ぼす影響 ○山本泰也・石崎雄介・中村雅人 (三重畜研)
15:45		306	放牧泌乳牛へのコーンサイレージ補給時刻が食草量、食草時間および乳生産に及ぼす影響 ○上田宏一郎・三谷朋弘・近藤誠司 (北大院農)	15:45		406	飼料用玄米の混合割合の違うTMRの給与が泌乳前期の乳生産に及ぼす影響 ○室井章一・上野源一・大輪真司 (栃木畜酪研)

口頭発表プログラム 3月25日		
E会場 (講義棟 1階 17番教室)		
時間	座長	6. 育種
14:30	久保田明人	601 オーチャードグラス高糖含量系統の特性 2. 4か年の収量性および生育特性 ○真田康治 ¹ ・谷津英樹 ² ・横山 寛 ² ・高山光男 ² ・佐藤駿介 ² ・田村健一 ¹ ・田瀬和浩 ¹ (¹ 北海道農研・ ² 雪印種苗)
14:45		602 オーチャードグラス種子生産における収穫適期簡易判定法の確立に関する研究 ○川口 優・土方浩嗣・早坂邦昭・櫻井光一 (家畜改良センター茨城牧場長野支場)
15:00		603 栃木県那須塩原市におけるいもち病抵抗性イタリアンライグラス品種の晩夏播種による年内収量 (予報) ○清 多佳子 ¹ ・月星隆雄 ¹ ・内山和宏 ¹ ・桂真昭 ² ・荒川 明 ² ・杉田紳一 ³ ・上山泰史 ¹ (¹ 畜草研・ ² 九沖農研・ ³ 日本草地畜産種子協会)
15:15	足利和紀	604 2010年の猛暑後の生存個体に由来するフェストロリウム集団の越夏性と収量性 ○内山和宏 ¹ ・清 多佳子 ¹ ・荒川 明 ² ・上山泰史 ¹ (¹ 畜草研・ ² 九沖農研)
15:30		605 ススキとオギに由来する新規3倍体種間雑種のバイオマス生産性 ○上床修弘 ¹ ・山下 浩 ¹ ・田村健一 ² ・小路敦 ² ・真田康治 ² ・奥村健治 ² ・我有 満 ¹ (¹ 九沖農研・ ² 北農研)
15:45		606 ペレニアルライグラス「東北7号PR」の盛岡での生産力検定 ○藤森雅博・秋山征夫・久保田明人 (東北農研)

口頭発表プログラム 3月26日				口頭発表プログラム 3月26日			
A会場 (講義棟2階 25番教室)				B会場 (講義棟2階 11番教室)			
時間	座長	2. 造成・管理・栽培		時間	座長	優秀若手発表賞発表	
9:00	須藤賢司	207	作溝播種における前植生およびリター量がチモシー出芽本数に与える影響 ○中村直樹・林 拓・牧野 司 (道総研根創農試)	9:00	堤道生	Y01	Mapping forage quantity and quality in Italian ryegrass field during growing season using proximal sensing. ○Jihyun Lim ¹ , Kensuke Kawamura ¹ , Rena Yoshitoshi ¹ , Yuzo Kurokawa ² and Nariyasu Watanabe ³ (1)広島大院国際・2)広島大院生物園科学・3)北農研)
9:15		208	品種情報データベースと非線形混合効果モデルを用いた飼料用ムギ類の秋冬季の草量予測 ○中神弘詞・北川美弥・平野 清 (畜草研)	9:15		Y02	Spectral assessment on herbage biomass and nutritive status of typical and desert steppes in Inner Mongolia. ○Zhe Gong ¹ , Kensuke Kawamura ¹ , Naoto Ishikawa ² , Mizuki Inaba ² , Jin Hai ³ (1)広島大院国際・2)筑波大生命環境系・3)中国内蒙古農科院)
9:30		209	オホーツク内陸部の混播草地の夏季更新における播種期が牧草の生産性に及ぼす影響 ○藤井弘毅・田中常喜・足利和紀 (道総研北見農試)	9:30		Y03	チベット高原のヤク・ヒツジ放牧地における裸地率の空間変動 ○李 曉琴 ¹ ・西脇亜也 ¹ ・宋 仁徳 ² ・李国梅 ³ (1)宮崎大学院農工研究科・2)玉樹ヤク総合試験場・3)玉樹草地センター)
9:45	中神弘詞	210	放牧地におけるUAVオルソモザイク画像の位置精度の検証 ○弓場憲生 ² ・川村健介 ¹ ・林 志炫 ¹ ・吉利怜奈 ¹ ・範心硯 ¹ (1)広島大・2)広島県総技研)	9:45	池田堅太郎	Y04	放牧密度が荒廃農地の植生およびヤギの栄養状態に及ぼす影響 ○土井和也・阿知波元樹・小林明奈・迫田志帆・八代田真人 (岐阜大)
10:00		211	マルチロータUAVによるトウモロコシ畑の雑草分布状況の推定 田中勝千 ¹ ・○鈴木由美子 ¹ ・嶋田 浩 ² ・皆川秀夫 ¹ (1)北里大・2)秋田県立大)	10:00		Y05	広葉草本および木本の存在が放牧家畜の養分摂取に及ぼす影響 ○高見澤真太 ¹ ・穴戸哲郎 ² ・小倉振一郎 ² (1)東北大学農学部・2)東北大学院農学研究科)
10:15		212	土壌凍結地帯における乳牛の放牧期間延長 (1)晩秋期の備蓄用草地向け草種の選択 ○八木隆徳 (北農研)	10:15		Y06	UAV空撮画像から放牧地の牛糞は検出可能か? ○吉利怜奈 ¹ ・川村健介 ¹ ・林 志炫 ¹ ・弓場憲生 ¹ ・安田泰輔 ² (1)広島大院国際・2)山梨県富士山研)
10:30	東山雅一	213	寒地型牧草3草種のRCG等のイネ科雑草に対する競合力 ○岡元英樹 ¹ ・高橋雅信 ¹ ・安達美江子 ² ・岡 一義 ³ ・大城敬二 ³ (1)道総研天北支場・2)ホクレン・3)北海道農政技術普及課天北支場駐在)	10:30	渡辺也恭	Y07	乳牛臀部の3D画像を用いた体重および乳量の推定 ○間野聡実 ¹ ・川村健介 ² ・吉利怜奈 ² ・玉木 徹 ³ ・菅井 駿 ³ ・池上 舞 ³ ・松井賢司 ⁴ ・黒川勇三 ⁵ ・小櫃剛人 ⁵ ・沖田美紀 ⁵ ・杉野利久 ⁵ ・安田泰輔 ⁶ (1)広島大生・2)広島大院国際・3)広島大院工・4)広島大工・5)広島大院生・6)山梨県富士山研)
10:45		214	ペレニアルライグラス混播採草地の特性1. 初年目の調査結果 ○須藤賢司 ¹ ・青木康浩 ¹ ・久保田哲史 ¹ ・高橋 俊 ¹ ・大塚博志 ² ・佐々木翔希 ² (1)北農研・2)ホクレン)	10:45		Y08	泌乳牛への飼料用籾の給与割合が乳生産・乳成分および牛乳の風味に及ぼす影響 ○林 那穂子・箕浦睦也・野村 伸・八代田真人 (岐阜大)
11:00				11:00	三谷朋弘	Y09	ブナシメジ腐菌床の新規牛用飼料としての機能的価値 ○小池晶琴・甲野恵美・伊藤寛治・横尾正樹 (秋田県立大)
11:15				11:15		Y10	省力的な飼料用稲・麦二毛作作業体系 ○川原田直也 ¹ ・中西幸峰 ² ・出岡裕哉 ¹ ・田畑茂樹 ¹ ・中山幸則 ¹ ・大西順平 ¹ (1)三重県農業研究所・2)三重県松阪農林事務所)

口頭発表プログラム 3月26日				口頭発表プログラム 3月26日			
C会場 (講義棟2階 24番教室)				D会場 (講義棟1階 16番教室)			
時間	座長	3. 放牧・家畜管理・行動		時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
9:00	井戸田幸子	307	伐採跡地に造成したシバ型草地での黒毛和種繁殖牛の放牧成績 ○一戸俊義 ¹ ・宋 相憲 ¹ ・坂本真実 ² ・帯刀一美 ² (1島根大・2島根県中山間地域研セ)	9:00	蔡義民	407	牧草中カロテノイドおよびクロロフィルのサイレージ調製に伴う変化 ○呂 仁龍 ¹ ・EL-Sabagh Mabrouk ¹ ・小植剛人 ¹ ・谷口幸三 ¹ ・杉野利久 ¹ ・黒川勇三 ¹ ・川村健介 ² (1広大院生物園・2広大院国際研)
9:15		308	草地植生の不均一性が肉用牛の放牧行動に与える影響 ○鈴木由美子 ¹ ・小笠原英毅 ¹ ・梅村和弘 ² ・田中勝千 ¹ ・寶戸雅之 ¹ (1北里大・2北農研)	9:15		408	乳酸菌資材を添加した稲ワラサイレージの栄養価 ○関 誠 ¹ ・小橋有里 ¹ ・北村 亨 ² (1新潟農総研畜研・2雪印種苗(株))
9:30		309	黒毛和種子牛の放牧育成(3) 離乳前のゼロオリゴ糖給与の効果 ○木戸恭子 ¹ ・手島茂樹 ¹ ・櫛引史郎 ¹ ・上野 豊 ² (1畜草研・2信州大)	9:30		409	高水分牧草サイレージ調製時における乳酸菌・酵素製剤の添加効果 ○北村 亨 ¹ ・本間 満 ¹ ・谷川珠子 ² ・西道由紀子 ² ・大越安吾 ² ・昆野大次 ² ・大坂郁夫 ² (1雪印種苗・2根創農試)
9:45		310	冬季におけるホルスタイン種子牛の若齢放牧育成 ○進藤和政・楯村恭子・秋山典昭・平野清・井出保行(畜草研)	9:45		410	Android端末機とクラウドを利用した国産粗飼料の生産履歴管理システムの開発 ○川出哲生 ¹ ・浦川修司 ¹ ・喜田環樹 ¹ ・松尾守展 ² (1畜草研・2生研センター)
10:00	正岡淑邦	シニア発表		10:00	住田憲俊	411	静電容量式水分測定器の改造と飼料イネ含水率の推定 ○川出哲生・浦川修司(畜草研)
		S01	飼料作物の新品種審査における最近の動向 ○雑賀 優(元 岩手大学農学部)			412	トウモロコシサイレージにおける電磁波伝搬特性と水分との関係~2GHz 帯域周辺での検討~ ○松尾守展 ¹ ・堀部雅弘 ² ・加藤悠人 ² ・橋保宏 ¹ (1生研センター・2産業技術総合研究所)
		S02	奇妙な草食動物: ジャイアントパンダにおける竹細胞壁の消化 ○千秋 達道(北里大学獣医学産産学部(現 獣医学部))			413	飼料生産用機械の事故調査事例 ○志藤博克 ¹ ・積 栄 ¹ ・岡田俊輔 ¹ ・館山則義 ² ・馬淵彰三 ³ (1生研センター・2北海道農作業安全運動推進本部・3ホクレン)
10:30	S03	フォレンジテスト再構築事業における検量線の分析精度 ○甘利雅拙 ¹ ・大森英之 ¹ ・田島 清 ¹ ・岡野和夫 ² (1畜産草地研究所・2(一社)日本草地畜産種子協会)	10:30				
10:45	雑賀 優	S04	ウルグアイにおけるシニアボランティア活動 ○田村良文(元JICA シニアボランティア、岩手県滝沢市)	10:45	出口 新	501	キノア (Chenopodium quinoa) におけるNaおよびMg耐性 ○原 直人 ¹ ・松本恵理香 ² ・箭柏 聖 ² ・前田良之 ² (1東京農大大学院農芸化学専攻・2東京農大生物応用化学科)
11:00		S05	色素増感法で発生する活性酸素を利用した安全な脱臭減菌技術 ○正岡淑邦(元 広島大学生物生産学部)	11:00		502	外因性グリシンペタインがコマツナおよびフダンソウの生育に及ぼす影響 ○箭柏 聖 ¹ ・松本恵理香 ¹ ・原 直人 ² ・前田良之 ¹ (1東京農大生物応用化学科・2東京農大大学院農芸化学専攻)
11:15				11:15			

口頭発表プログラム 3月26日			
E会場 (講義棟 1階 17番教室)			
時間	座長	6. 育種	
9:00	佐藤広子	607	フェスクーロリウム間におけるムギ類耐凍性QTL FR-1 ○田村健一 ¹ ・田瀬和浩 ¹ ・真田康治 ¹ ・久保田明人 ² ・秋山征夫 ² (¹ 北農研・ ² 東北農研)
9:15		608	晩生アカクローバの施設採種における日長処理の効果 ○奥村健治 ¹ ・川口 優 ² ・高田寛之 ¹ ・廣井清貞 ¹ ・土方浩嗣 ² (¹ 北農研・ ² 家畜改セ長野支場)
9:30		609	DNAマーカーを利用したエンドファイト感染フェストロリウム系統の育成 (2) ○久保田明人 ¹ ・藤森雅博 ¹ ・田村健一 ² ・秋山征夫 ¹ (¹ 東北農研・ ² 北農研)
9:45	三ツ橋昇平	610	SSRマーカーによるチモシー多交配後代の花粉親の推定 ○田中常喜 ¹ ・田村健一 ² ・足利和紀 ¹ ・藤井弘毅 ¹ ・山田敏彦 ³ (¹ 道総研北見農試・ ² 北農研センター・ ³ 北大FSC)
10:00		611	ガンマ線照射ソルガム bloomless 変異体の原因遺伝子の解析 ○川東広幸 ¹ ・水野浩志 ¹ ・金森裕之 ¹ ・南博 ² ・緒方 洵 ¹ ・中川 仁 ³ ・松本 隆 ¹ (¹ 生物研・ ² MSS・ ³ JIRCAS)
10:15		612	高糖性ソルガムの飼料品質および嗜好性 ○清沢敦志 ¹ ・浅井貴之 ¹ ・後藤和美 (長野畜試)
10:30	黄川田智洋	613	信大育成系統12RIL3の茎葉関連形質および乾物生産性の評価 ○北原茉依 ¹ ・川東幸広 ² ・米丸淳一 ² ・春日重光 ¹ (¹ 信州大学農学部AFC・ ² 農業生物資源研)
10:45		614	ソルガム国内F1品種に利用されている稔性回復遺伝子の同定と精密マッピング ○米丸淳一 ¹ ・清沢敦志 ² ・川東広幸 ¹ ・後藤和美 ² (¹ 生物研・ ² 長野畜試)
11:00		615	準高冷地において選抜・育成したライムギ系統の特性評価 ○春日重光 ¹ ・池本 賢 ¹ ・北原茉依 ¹ ・小山内光輔 ² ・関根 平 ² ・野宮 桂 ² (¹ 信州大学農学部AFC・ ² 雪印種苗株式会社 千葉研究農場)
11:15			

口頭発表プログラム 3月27日				口頭発表プログラム 3月27日			
A会場 (講義棟2階 25番教室)				B会場 (講義棟2階 11番教室)			
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・ 緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
11:00	北川美弥	107	寒地型牧草の肥料木・庇陰樹としてのネムノキの特性評価 樹冠内外での3年間の牧草と雑草の生育の推移 ○福田栄紀(東北農研)	11:00	八木隆徳	215	根釧地域における資源作物としての数種多年生草本の生産性 ○松本武彦 ¹ ・牧野 司 ¹ ・木場稔信 ² (¹ 根釧農試・ ² 北見農試)
11:15		108	九州高標高地域のススキ・オギ混在自生地におけるオギ実生から得られた両種の雑種と推定される個体 ○小路 敦 ¹ ・山下 浩 ² ・田村健一 ¹ ・上床修弘 ² ・我有 満 ² ・眞田康治 ¹ ・奥村健治 ¹ (¹ 北農研・ ² 九沖農研)	11:15		216	南九州におけるテフ(Eragrostis tef)を組み込んだ穀類3毛作体系の検討 ○仲田友希実 ¹ ・井戸田幸子 ² ・石井康之 ² ・福山喜一 ² (¹ 宮崎大大学院農学研究科・ ² 宮崎大農)
11:30	小倉振一郎	109	牧草中放射性セシウム濃度の草種間差と経年変化 ○築城幹典・山下 萌(岩手大農)	11:30		217	シカによる牧草被害が多い牧場では草地更新時に獣害対策が必要 ○平野 清 ¹ ・塚田英晴 ¹ ・須山哲男 ² ・庄山由美 ² ・清水矩宏 ² ・進藤和政 ¹ ・井出保行 ¹ (¹ 畜草研・ ² 神津牧場)
11:45		110	シバ型放牧草地における放射性セシウム動態のモデル化 ○築城幹典 ¹ ・山下 萌 ¹ ・榎村恭子 ² ・秋山典昭 ² ・平野 清 ² ・山田大吾 ² ・井出保行 ² ・渋谷 岳 ² (¹ 岩手大農・ ² 畜草研)	11:45		218	異なる傾斜区分にゾーニングされた放牧草地における牧草の施肥反応 ○北川美弥 ¹ ・山田大吾 ¹ ・保倉勝己 ² (¹ 畜草研・ ² 山梨酪試)

口頭発表プログラム 3月27日				口頭発表プログラム 3月27日			
C会場 (講義棟 2階 24番教室)				D会場 (講義棟 1階 16番教室)			
時間	座長	7. 土壌・肥料		時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
11:00	山田大吾	701	マメ科緑肥作物ヘアリーベッチの導入が後作トウモロコシの収量およびリン栄養に与える影響 ○出口 新・魚住 順・内野 宙・嶮野英子 (東北農研)	11:00	関誠	414	破碎処理した飼料用粗米の給与割合がヒツジの反芻胃内 発酵および微生物合成に及ぼす影響 ○八代田真人・野村 伸・林 那穂子・箕浦睦也 (岐阜大)
11:15		702	小型堆肥化実験装置を用いた鶏糞の最適堆肥化条件の検討 ○梶谷祐介 ¹ ・井戸田幸子 ² ・石井康之 ² ・福山喜一 ² (宮崎大大学院農学工学総合研究科・ ² 宮崎大農)	11:15		415	飼料用玄米を濃厚飼料中50%混合した発酵TMRの給与が肥育後期黒毛和種去勢牛の肥育成績におよぼす影響 ○高平寧子 ¹ ・中村真貴 ³ ・松原禎敏 ⁴ ・松原久美子 ⁵ ・柴野 愛 ¹ ・楡引史郎 ² (富山畜研・ ² 筑波大院・ ³ 富山農振セ・ ⁴ 富山県農産食品課・ ⁵ 富山県農業経営課)
11:30		703	北海道東部の西別川における、河川源流部の草地化が河川源流部水質におよぼす影響 ○佐々木章晴 (当別高)	11:30		416	モヤシ製造残渣サイレージの発酵品質と反芻家畜での栄養価 ○石田元彦・常川千春・石川貴大・磯貝千明・浅野桂吾 (石川県大)
11:45		704	北海道東部の低投入型放牧地における、カリウムの分布が草地植生におよぼす影響 ○佐々木章晴 (当別高)	11:45		417	飼料用大豆のサイレージ化に伴うリポキシゲナーゼ活性の消長把握 ○嶮野英子 ¹ ・内野 宙 ¹ ・魚住 順 ¹ ・河本英憲 ¹ ・出口 新 ¹ ・大下友子 ² ・根本英子 ² (東北農研・ ² 北農研)

口頭発表プログラム 3月27日

E会場 (講義棟 1階 17番教室)

時間	座長	6. 育種	
11:00	高原学	616	種間交雑パースフットトレフォイルのF2集団における形態および飼料特性 ○橋口正嗣 ¹ ・潮 竜馬 ² ・明石 良 ¹ (¹ 宮崎大農・ ² 宮崎大院農)
11:15		617	4倍体ミヤコグサとパースフットトレフォイルの交雑F2集団におけるタンニン含量とin vitroルーメン内発酵特性 ○近藤 誠 ¹ ・増元くるみ ¹ ・橋口正嗣 ² ・明石 良 ² (¹ 三重大生物資源・ ² 宮崎大農)
11:30		618	モデル草本植物ブラキボディウムにおける研究基盤整備 ○氷室泰代 ¹ ・石山賀奈子 ² ・森 文江 ² ・高橋史憲 ¹ ・井内 聖 ² ・芦荻基行 ³ ・小林正智 ² ・篠崎一雄 ¹ (¹ 理研CSRS・ ² 理研BRC・ ³ 名古屋大)
11:45		619	イネ科自家不和合性種における雌蕊側S遺伝子の多型性解析 ○掛田克行 ¹ ・平松拓実 ¹ ・村上 愛 ¹ ・清多佳子 ² (¹ 三重大院生物資源・ ² 畜草研)

ポスター発表（講義棟2階 23番教室）

偶数番号コアタイム：3月26日 13:00~14:00

奇数番号コアタイム：3月27日 13:00~14:00

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P01	階層判別による3軸加速度センサーを用いた放牧家畜の行動推定 ○吉成悠佑 ¹ ・板野志郎 ¹ ・明珍 学 ¹ ・渡辺也恭 ² ・川村健介 ³ (¹ 新潟大・ ² 北農研セ・ ³ 広島大)
P02	放牧導入を目指した酪農システムのエネルギー動態調査 ○明珍学・板野志郎・吉成悠佑・田中繁史・吉田智佳子(新潟大)
P03	野草地におけるモズの餌資源としてのバッタ目の生息状況 ○岡本智伸・小林優太・西本賢司・櫻村 敦・プラダン ラジブ・伊藤秀一(東海大農)
P04	温暖化ストレスに対するオーチャードグラスの集団分化 1. 温暖化ストレス耐性の生理的分化 ○中野敬護・杉山修一(弘前大)
P05	温暖化ストレスに対するオーチャードグラスの集団分化 2. DNA変異から見た遺伝的分化 ○中野敬護・杉山修一(弘前大)
P06	採草地における土壌炭素量の変化と堆肥施用の影響 ○松浦庄司 ¹ ・舟津正人 ² ・日比野洋 ² ・風間鈴子 ² ・佐々木寛幸 ¹ ・寶示戸雅之 ³ (¹ 畜草研・ ² 家畜改良センター・ ³ 北里大)
P07	シバ草地におけるブタナの生態と抑制に関する研究 第4報 放牧がブタナに及ぼす影響 鈴木翔 ¹ ・○杉浦俊弘 ² ・馬場光久 ² (¹ 北里大大学院・ ² 北里大)
P08	クサヨシ(<i>Phalaris aundinacea</i> L.)の国内自生集団の収集 ○上山泰史 ¹ ・久保田明人 ² ・秋山征夫 ² (¹ 畜草研・ ² 東北農研)

2. 造成・管理・栽培

P09	セントオーガスティングラスの放牧条件での被度拡大と庇蔭の影響 ○大谷一郎・高橋佳孝・堤道生(近中四農研)
P10	寒地型牧草地へのウィンターオーバーシーディング時における堆肥散布が導入草種および全イネ科収量に及ぼす効果の草種間比較 ○小路 敦(北農研)
P11	暖地の飼料用トウモロコシ夏播き栽培に適した品種の早晩性と播種晩限の検討 ○加藤直樹・服部育男・小林良次(九沖農研)
P12	暖地型牧草数種におけるアレロパシー活性の検索 ○今井裕理子・赤嶺 光・川本康博(琉大農)
P13	放牧条件におけるイタリアンライグラスの品種比較 ○金子 真・中村好徳・小林良次(九沖農研)
P14	小規模移動放牧に用いたオーチャードグラス「まきばたろう」草地の永続性、植生推移 ○手島茂樹 ¹ ・進藤和政 ¹ ・池田哲也 ² (¹ 畜草研・ ² 北農研)
P15	イタリアンライグラスの播種期の違いが生育および飼料成分に与える影響 ○中村寿男 ¹ ・鶴田克之 ¹ ・中山統雄 ² ・大川夏貴 ¹ (¹ 熊本農研セ畜研・ ² 熊本農技支)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月27日の14:00から15:00の間に撤去してください。15:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（講義棟2階 23番教室）

偶数番号コアタイム：3月26日 13:00~14:00

奇数番号コアタイム：3月27日 13:00~14:00

2. 造成・管理・栽培

P16	Basic study on characteristics of <i>Elymus repens</i> and <i>Phalaris arundinacea</i> to establish a management for weed control in grassland ○Gang Wen Chen ¹ ・Hiroshi Ohtsuka ² ・Toshihiko Yamada ³ （ ¹ Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University ² Hokuren Federation of Agricultural Cooperatives ³ Field Science Center for Northern Biosphere, Hokkaido University）
P17	アーバスキュラー菌根菌の接種条件下においてリンの施用が単播あるいは混播されたセタリアおよびグリーンリーフデスマディウムの成長に及ぼす影響 ○飛佐 学・中野志穂・平田昌彦（宮崎大）
P18	Studies on dry matter yield and Cd uptake of some tropical pasture grasses from Cd contaminated soils ○Win Mi Htwe ¹ ・Yin Yin Kyaw ¹ ・Sarayut Thaikua ¹ ・Susumu Mizumachi ² ・Yasuhiro Kawamoto ² （ ¹ The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University, ² Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus）
P19	オオムギ同伴栽培による播種当年の雑草抑制効果 ○安達美江子 ¹ ・道場和也 ² （ ¹ ホクレン畜技セ・ ² 現ホクレン帯広支所）
P20	縦軸型ハロー耕うん同時播種を利用したトウモロコシ（ <i>Zea mays</i> L.）の耕うん同時畝立て播種と湿害回避効果 ○住田憲俊（畜草研）
P21	耕起困難放牧地におけるカリの表面施肥が牧草中放射性セシウム濃度及びミネラルバランスに与える影響 ○佐藤まり子 ¹ ・藤原哲雄 ¹ ・尾張利行 ¹ ・山形広輔 ¹ ・桐山直盛 ² ・小林卓史 ² （ ¹ 岩手畜研・ ² 岩手農研）
P22	放射性セシウム濃度を低減した飼料作物生産の技術実証 ○天羽弘一・住田憲俊・阿部佳之・小島陽一郎（畜草研）
P23	福島県復興牧場での放射性セシウム濃度が低い飼料用トウモロコシ生産実証 ○住田憲俊・天羽弘一（畜草研）
P24	放射性セシウム吸収の草種間差 ○下田勝久・井出保行・梶村恭子・平野 清・進藤和政・渋谷 岳（畜草研）
P25	永年草地における牧草中放射性セシウム濃度の事故後4年間の変化 ○秋山典昭・渋谷 岳・平野 清・進藤和政・梶村恭子・山本嘉人（畜草研）
3. 放牧・家畜管理・行動	
P26	韓国の山地放牧地における草地植生と放牧家畜の摂食植物 ○小倉振一郎 ¹ ・八代田真人 ² ・川村健介 ³ ・Lim Jihyun ³ ・Park Jae-Hyun ⁴ ・Moon Sang-Ho ⁴ （ ¹ 東北大・ ² 岐阜大・ ³ 広島大・ ⁴ 建国大）
P27	UAV空撮による韓国の山地放牧地における高解像度DEMの作成 ○川村健介 ¹ ・Lim Jihyun ¹ ・小倉振一郎 ² ・八代田真人 ³ ・Park Jae-Hyun ⁴ ・Moon Sang-Ho ⁴ （ ¹ 広島大・ ² 東北大・ ³ 岐阜大・ ⁴ 建国大）
<p>ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは3月27日の14:00から15:00の間に撤去してください。15:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。</p>	

ポスター発表（講義棟2階 23番教室）

偶数番号コアタイム：3月26日 13:00~14:00

奇数番号コアタイム：3月27日 13:00~14:00

3. 放牧・家畜管理・行動

P28	GPSと加速度データを用いた放牧牛の採食利用場所の解析—山梨県立八ヶ岳牧場山地傾斜牧区での事例研究— ○渡辺也恭 ¹ ・北川美弥 ² （ ¹ 北農研・ ² 畜草研）
P29	草地と林地を含む山地放牧地におけるウシの摂食植物と摂取養分 ○高見澤真太 ¹ ・宍戸哲郎 ² ・小倉振一郎 ² （ ¹ 東北大農学部・ ² 東北大大学院農学研究科）
P30	高消化性スーダングラス草地での搾乳牛の放牧 ○佐々木 亨（日草種協）
P31	荒廃地に繋留放牧されたヤギの選択採食性 ○田中繁史・吉田智佳子・長井みのり・西川孝一・板野志郎（新潟大）
P32	放牧草地の草地生産量と播種草被度に及ぼす草種と施肥量の影響（利用3年目） ○東山雅一（東北農研）
P33	放牧草地の家畜生産に及ぼす草種と施肥量の影響（利用3年目） ○東山雅一（東北農研）
P34	生草給与前のウシルーメン液への尿素、アミノ酸投与が生草給与開始後の細菌叢の変化に及ぼす影響—ルシテックを用いた検討— ○中野美和・芳賀 聡・遠野雅徳・石崎 宏（畜草研）
P35	上伊那地域における公共牧場利用に関する酪農家の意識調査 ○張 禕 ¹ ・竹田謙一 ² （ ¹ 信州大学農学部・ ² 信州大学学術研究院農学系）
P36	早期放牧育成牛の受胎までの発育過程と冬季飼養法が及ぼす影響 ○秋山典昭・柁村恭子・進藤和政（畜草研）
P37	シバ草地に放牧した牛の糞、尿、肉中の放射性セシウム（2013~2014） ○柁村恭子 ¹ ・秋山典昭 ¹ ・平野 清 ¹ ・山田大吾 ¹ ・井出保行 ¹ ・渋谷 岳 ¹ ・築城幹典 ² （ ¹ 畜草研・ ² 岩手大）
P38	土壌と牧草に含まれる放射性セシウムの家畜消化管での吸収されやすさの抽出法による推定 ○柁村恭子・的場和弘・秋山典昭・山田大吾・渋谷 岳・山本嘉人（畜草研）

ポスター発表（講義棟2階 22番教室）

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P39	同一圃場から収穫したイアコーンサイレージとプレミアムイアコーンの生産量と飼料成分組成 ○大下友子・根本英子・青木康浩・上田靖子・青木真理（北農研）
P40	イアコーンサイレージ、ハイモイスチャーシェルドコーンおよび乾燥とうもろこし穀実の給与が泌乳牛の飼養成績に及ぼす影響 ○青木康浩・大下友子・上田靖子・青木真理（北農研）
P41	普通コンバインを利用したプレミアムイアコーン収穫調製作業 ○根本英子 ¹ ・大下友子 ¹ ・青木康浩 ¹ ・上田靖子 ¹ ・寺田晃子 ² ・石原拓朗 ² ・山本正浩 ² （ ¹ 北農研・ ² 胆振農業改良普及センター）
P42	トウモロコシ代替として飼料用玄米を混合した発酵TMRの貯蔵に伴う発酵品質、飼料成分、貯蔵ロスの変化 ○宮地 慎・松山裕城・野中和久（畜草研）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月27日の14:00から15:00の間に撤去してください。15:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（講義棟 2 階 22 番教室）

偶数番号コアタイム：3月26日 13:00~14:00

奇数番号コアタイム：3月27日 13:00~14:00

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P43	飼料用玄米あるいはトウモロコシを混合した発酵TMRの貯蔵に伴う第一胃内分解特性の変化 ○宮地 慎・松山裕城・野中和久（畜草研）
P44	熱帯牧草サイレージの調製と発酵 ○蔡 義民 ¹ ・Viengsakoun Napsirth ² ・櫻井 修 ³ ・大森英之 ¹ ・安藤 貞 ⁴ （ ¹ 畜草研・ ² National University of Laos・ ³ Meiji Seikaファルマ(株)・ ⁴ 国際農研）
P45	γ-アミノ酪酸を生産する乳酸菌のスクリーニングと飼料用米サイレージの調製 ○蔡 義民・大森英之・田島 清・樋口浩二（畜草研）
P46	稲ワラサイレージに対する乳酸菌資材の添加効果 ○小橋有里 ¹ ・関 誠 ¹ ・北村 亨 ² （ ¹ 新潟農総研・ ² 雪印種苗（株））
P47	エンバク乾草またはサイレージ主体発酵TMRの発酵品質とタンパク質・繊維画分 ○西村慶子 ¹ ・中西良孝 ² （ ¹ 宮崎畜試・ ² 鹿大農）
P48	黒毛和種繁殖牛向け発酵TMRの構成原料や乳酸菌添加割合の違いが発酵品質に及ぼす影響 ○中武 真・西村慶子・小坂昭三（宮崎畜試）
P49	収穫時水分、貯蔵期間および環境温度がエリアンサス「野積み」貯蔵における炭水化物、熱量回収率に及ぼす影響 ○服部育男・我有 満・加藤直樹・上床修弘（九冲農研）
P50	牧草の乳酸緩衝能の推定方法の検討（第1報）無機成分からの推定 ○篠田英史・三浦俊治・古川修（雪印種苗株式会社）
P51	牧草の乳酸緩衝能の推定方法の検討（第2報）近赤外分光法による推定 ○篠田英史・三浦俊治・古川修（雪印種苗株式会社）
P52	粳米サイレージ調製作業システムおよび調製コストの検討 ○井上秀彦・川出哲生・浦川修司（畜草研）
P53	ブドウ搾り粕のサイレージ特性 ○保倉勝己（山梨酪試）
P54	モウソウチクを材料としたサイレージの好氣的安定性 ○新美光弘・江川宇希・宮田ひかる・小林郁雄・福山喜一・森田哲夫・三澤尚明（宮崎大）
P55	Glucose metabolism parameters and feed digestibility in lambs fed low-quality roughage after weaning ○WenBin Xu ¹ ・Naoto Okayama ² ・Masato Yayota ² （ ¹ The United Graduate School of Agriculture Science, Gifu University, ² Faculty of Applied Biological Sciences, Gifu University）
P56	近赤外分光分析によるトウモロコシ・ソルガムWCSの栄養成分の推定法 ○江口研太郎・森田聡一郎（畜草研）
<p>ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。 ポスターは3月27日の14:00から15:00の間に撤去してください。15:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。</p>	

ポスター発表 (講義棟 2階 21番教室)

偶数番号コアタイム: 3月26日 13:00~14:00
 奇数番号コアタイム: 3月27日 13:00~14:00

5. 生理・形態・病理・昆虫

- P57 西洋オトギリソウのポリフェノールが茎切断により受ける影響
 ○江口研太郎 (畜草研)
- P58 ソルトブッシュの塩害地での生育特性
 ○大竹秀男・遠藤一希 (宮城大・食産)
- P59 飼料用トウモロコシの赤かび病抵抗性評価のための絹糸束注入法における接種菌液量の検討
 ○湊 啓子¹・飯田 憲司¹・山川 政明² (¹道総研畜試・²元道総研畜試)
- P60 飼料用トウモロコシの赤かび病抵抗性評価法
 ○湊 啓子¹・飯田 憲司¹・山川 政明² (¹道総研畜試・²元道総研畜試)

6. 育種

- P61 人為交配によるオギおよびスキの種間雑種の作出
 ○眞田康治・小路 敦・田村健一・奥村健治 (北農研)
- P62 飼料用トウモロコシにおける絹糸抽出期以前の耐倒伏性調査
 ○三ツ橋昇平・玉置宏之 (畜草研)
- P63 本州中山間地における飼料専用品種「たちあやか」「たちすずか」の種子生産に関する研究
 土方浩嗣¹・中込弘二²・○川口 優¹ (¹家畜改良センター茨城牧場長野支場・²近中四農業研究センター)
- P64 トウモロコシ赤かび病接種検定における発病度のデント種およびフリント種自殖系統間の組合せ能力
 ○黄川田智洋¹・濃沼圭一²・伊東栄作³・佐藤 尚¹ (¹北農研・²畜草研・³九沖農研)
- P65 Development of selection indexes as the screening tool in Brachiaria breeding
 ○Sarayut Thaikua¹・Masumi Ebina²・Kaori Kouki³・Yuriko Imai⁴・Yasuhiro Kawamoto⁴ (¹The United Graduate School of Agricultural Sciences, Kagoshima University, ²Forage Crop Research Division, National Institute of Livestock and Grassland Sciences, ³Okinawa Prefectural Livestock and Grassland Research Center, ⁴Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus)
- P66 細胞壁構成成分を改変した遺伝子組換えバヒアグラスにおける形態特性
 ○権藤崇裕¹・Muguerza Melody²・明石 良² (¹宮大フロンティア・²宮大農)
- P67 アルファルファ新品種「北海6号」の育成とその特性
 ○廣井清貞¹・内山和宏²・奥村健治¹・我有 満³・磯部祥子⁴・高田寛之¹・松村哲夫⁵・山口秀和⁵・澤井 晃⁵・中島和彦⁵・澤田嘉昭⁶・藤井弘毅⁶・牧野 司⁷・林 拓⁷・佐藤尚親⁷・出口健三郎⁸・酒井 治⁹・中村直樹⁷・安達美江子¹⁰・道場和也¹⁰・岩淵 慶¹⁰ (¹北農研,²畜草研,³九沖農研,⁴かずさDNA研,⁵退職,⁶北見農試,⁷根釧農試,⁸畜試,⁹十勝農試,¹⁰ホクレン)
- P68 チモシー栄養系の地下茎型イネ科雑草との競合および無競合条件での生育解析 1. 競合条件における競合力の評価方法
 ○足利和紀¹・出口健三郎² (¹道総研北見農試・²道総研畜試)
- P69 チモシー栄養系の地下茎型イネ科雑草との競合および無競合条件での生育解析 2. 競合条件への間接選抜
 ○足利和紀¹・出口健三郎² (¹道総研北見農試・²道総研畜試)

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
 ポスターは3月27日の14:00から15:00の間に撤去してください。15:00以降に掲示されている
 ポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（講義棟 2階 21番教室）

偶数番号コアタイム：3月26日 13:00~14:00

奇数番号コアタイム：3月27日 13:00~14:00

P70	ナショナルバイオリソースプロジェクトミヤコグサ・ダイズ -草類育種におけるミヤコグサとスーパールートの利用- ○橋口正嗣 ¹ ・石垣元気 ¹ ・山崎由紀子 ² ・明石 良 ¹ （ ¹ 宮崎大農、 ² 遺伝研）
P71	アグロバクテリウム法による遺伝子組換え体の作出に適したイタリアンライグラス遺伝子型の選抜 ○佐藤広子・高溝 正（畜草研）
P72	トウモロコシCAD遺伝子を標的とするCRISPR/Cas9の切断効率 ○高原 学・佐藤広子・高溝 正（畜草研）
P73	イオンビーム照射によるアポミクシス欠失変異体の生殖様式の解析 ○高原 学 ¹ ・蝦名真澄 ¹ ・森田竜平 ² ・風間裕介 ² ・阿部知子 ² ・高溝 正 ¹ ・中川 仁 ³ （ ¹ 畜草研・ ² 理研・ ³ 国際農研）

7. 土壌・肥料

P74	堆肥連用に伴う土壌pH上昇が草地土壌のN ₂ O生成に及ぼす影響 ○森 昭憲（畜草研）
P75	飼料用とうもろこし栽培における土壌中交換性カリ含量に応じたカリ施肥量と堆肥によるカリ代替効果 ○尾張利行 ¹ ・須永義人 ² ・出口 新 ³ ・伊藤孝浩 ¹ ・佐藤まり子 ¹ ・山形広輔 ¹ （ ¹ 岩手畜研・ ² 畜草研・ ³ 東北農研）
P76	オーチャードグラスの簡易更新による導入とその後の維持管理 が収量と草種構成に及ぼす影響 ○岡元英樹 ¹ ・中田悦男 ² ・高橋雅信 ¹ ・吉川恵哉 ⁴ ・岡 一義 ³ ・林 弘幸 ² ・熊谷健一 ² ・犬飼厚史 ² ・松本 啓 ⁵ ・鈴木耕治 ⁶ ・安達美江子 ⁶ （ ¹ 道総研天北支場・ ² 宗谷農改本所・ ³ 北海道農政部技術普及課天北支場駐在・ ⁴ 現：宗谷農改宗谷北部支所・ ⁵ 現：十勝農改十勝南部支所・ ⁶ ホクレン）

ポスター発表（講義棟 2階 22番教室）

8. その他

P77	東北大学川渡フィールドセンター山地放牧地における植物体地上部の放射能汚染に及ぼす地形の影響 ○小倉振一郎・米澤千夏・齋藤雅典（東北大）
P78	原発事故帰還困難区域における放牧草の放射性セシウム濃度に及ぼす草種、場所、季節の影響 ○佐藤衆介 ¹ ・夏堀雅宏 ² ・大谷久美子 ³ ・岡田啓司 ⁴ （ ¹ 東北大学大学院・ ² 北里大学・ ³ 被災動物環境研究会・ ⁴ 岩手大学）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターは3月27日の14:00から15:00の間に撤去してください。15:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

